

第7学年 道徳科 指導案

日 時 令和3年1月16日(土) 第3校時
対 象 第7学年
学 校 名 板橋区立志村第三中学校

1 主題名 いじめのない集団【C - 1 1 公正、公平、社会正義】

2 教材名 『さかなのなみだ』(日本文教出版)

3 ねらいとする道徳的価値について

学活や部活動などにおいて、よりよい集団を実現するためには、好き嫌いから他者に対して偏見を持たないよう努めることや、自分と同様に他者も尊重し、誰に対しても分け隔てなく公平に接し続けようとするのが大切である。また、集団内のいじめや不正に対して、「見て見ぬふりをする」「避けて通る」といった立場ではなく、いじめや不正な言動を許さない、たくましい態度を育てることが重要である。

4 ねらい

同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。

5 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○いじめについて考える		●いじめに対して第三者の立場から考えるという方向性をもたせる。
展開	○資料の範読を聞く。 ○いじめに対する思いを考える。 ○いじめられていた子の気持ちを考える。 ○筆者が経験から考えたことをまとめる。 ○筆者の生き方から学んだことをまとめ、全体で交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「小さな学校や狭い社会のなかにもいじめがある」とあるが、あなたはそれをどう思うか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとした意見の衝突からいじめに発展することもあると思う。 ・集団になれば、必ずいじめが起きると思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ほっとした表情」とあるが、いじめられていた子はどんな気持ちになったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい。 ・一人じゃないんだ。 ・悩みを打ち明ける勇気が出てきた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>さかなクンが、中学生のときいじめに接した経験から考えたことは、どんなことだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめられている子を孤立させてはいけない。 ・いじめられている子に寄り添うことで安心してくれる。 ・いじめのある集団では、楽しい思い出は残らない。 ・学校以外など、外の広い世界に触れることも大切。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いじめのない集団を目指して、さかなクンの生き方からどんなことを学べるだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめはどんな集団でも起きうるが、優しさや勇気ある行動で解決できる。 ・周りの雰囲気にならなれず、自分が正しいと思ったことをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いじめやいじめにつながっていくトラブルはどこにでも存在することを受け止めさせる。 ●いじめを受けている人は、孤立感を抱いている。まず、その解消のために寄り添うことが必要であることを押さえる。 ●自分の周りではいじめが存在していると、学校生活を楽しく過ごすことはできないことを考えさせる。 ●魚と違い、人間はいじめを解決できることを考えさせたい。 ●いじめのない集団をめざして、一人ひとりが正義や公正を自覚し関わっていくことが重要であり、傍観するだけでは何の解決にもならないことを改めて考えさせる。
まとめ	○授業を振り返り、感じたこと、考えたことを記入する。		●必要に応じて、コラム『いじめ』って何?』を用いる。

6 評価

人間としてよりよい集団を築くために、いじめなどを見て見ぬふりをせず、積極的に正義や公正を実現しようとする発言や記述が見られたか。